

はるかな尾瀬

— 目 次 —

02 現地情報

- ①原をわたる風だより
- ②おこじょだより

04 認定ガイドがススめる とっておきの尾瀬

- ①尾瀬にふれる機会を作る
- ②体が森の空気に包まれる感覚

05 尾瀬ボランティア情報

TOPIX

06 尾瀬保護財団からのお知らせ



2012.10 vol.19
(財)尾瀬保護財団



尾瀬ヶ原から至仏山を望む

原をわたる風だより 山の鼻でジッターセンターより

半年間、尾瀬の中で仕事をしてきたスタッフが、「今年一番の尾瀬」をご紹介します。

逆さ至仏

まだ湿原に雪の多く残る5月16日。尾瀬に来て一週間もたない頃。見晴沼尻川橋の橋架けのために尾瀬ヶ原を歩きながら、ふと、後ろを振り返るとそこにはくつきりと湿原に映るもう一つの至仏山がありました。当時は「うわ〜キレイ。」の一言でしたが条件が揃った5月の中旬、数日しか見られない貴重な情景だということの後々知りました。早速その日のブログに掲載し、翌日にはブログをみて来たという方が来られ非常に嬉しかったのを覚えています。
(大泉 和寛)



子ども達の笑顔

盛夏の尾瀬で子ども達が見せた、眩しいほどの笑顔。今年、最も強く印象に残った尾瀬の「風景」です。7月31日から四日間、尾瀬沿畔で開催された子どもサミット。群馬、新潟、福島の子供達が集った小・中学生が、尾瀬の自然に直に触れながら環境学習を行いました。私は自然観察活動の先導役として参加しました。担当した班の子ども達の関心はオコシヨに集中。直近の目撃情報を集め、懸命に搜索しましたが、オコシヨは最後まで姿を現しませんでした。それでも、自然への理解や県外の友達など、子ども達が得たものは大きかったです。彼らの顔に輝いた笑顔が、その何よりの証しです。
(福井 隆)



白虹

9月7日、天気予報は晴れ。朝露も出ている。今日こそ！朝食のおにぎりを持って尾瀬ヶ原に出ると、青い空にぼんやりと白いアーチが見えました。やった〜

まだ人も少ない尾瀬ヶ原で、虹を眺めながらのひんやりとした空気と暖かいスूप。とっても贅沢で幸せな時間です。太陽が顔を出すと、朝露も虹も消えてしまいま



す。背中がポカポカと暖かくなってきました。まだ日中は夏の陽気です。
(佐藤 美幸)

尾瀬を守る

尾瀬に来て一番強く感じたことは、環境に対する配慮、思いやりでした。私は、植生復元・整備等の担当として尾瀬に携わる事になりました。至仏山の植生復元・整備等ではボランティアーの方々の協力により無事に作業を終了させることができました。私は



業務を通じて、尾瀬の自然は多くの方々の思いやりと協力により守られていることを知り、その重要性を感じました。そしていつしかその方々の勇姿に対して、尊敬と憧れを抱いていました。また、尾瀬に携わる方々と触れ合うにつれ、この豊かな自然を守っていくために自分ができることを考え、実行していけるようになりたいと思うようになっていきました。
(大塚 雄太)

即席家族

じゃあ、今日からこの九人が家族だから。と放り出されるのがまず、第一日目。ビジターセンターで勤務するとは、昨日まで会ったこともない人と、即席家族になることです。そして約半年間、即席家族は寝食を共にしながら仕事をします。いくら二年目と言っても、初めて会う即席家族にドキドキするのは一年目と変わりません。最初は借りてきた猫のようだった男性陣。今年は女性が少ないから、甘い物は私たちの胃袋に。と思っていたのに、実は皆甘党でした。ゼリー、アイス、饅頭、プリンに菓子パン。差し入れをいただく度に争奪ジャンケンです。その儀式が一つのエンターテインメントになりました。休暇後にビジターセンターに戻ると、やっぱり我が家が一番だと感じます。それぞれの味を生かした半斤。来年はどんな顔が揃うのか楽しみです。
(佐々木 彩乃)

現地情報

おじじよだより 尾瀬沼ビジターセンターより

半年間、尾瀬の中で仕事をしていたスタッフが、「今年一番の尾瀬」をご紹介します。

尾瀬沼畔からの景色

長蔵小屋裏の尾瀬沼のほとりをおすすめします。



大江湿原にスクッと立つ三本のカラマツ、お天気次第で望める燧ヶ岳、穏やかな水面は落ち着きます。

日によって変化する景色が魅力的です。

このほとりでは何もかもが美味しく、インスタントラーメンでさえも格別です。

“尾瀬沼一周の旅”は、ここからスタートしてみてもいい。

(善浪 めぐみ)

早朝の沼尻は別世界

私の好きな場所は沼尻です。林を抜けて辿りつく湿原。色とりどりの花が咲き、池塘には真っ白いヒツジグサが浮いています。奥に見えるのは尾瀬沼。その畔に小さな休憩所があり、訪れた人がゆっくり休んでいます。反対側には大きな燧ヶ岳が堂々とそびえています。とくに朝早い時間は、陽の光で別世界にきたような美しさです。(清原 香菜子)



三度目の燧ヶ岳

想い出の場所は何といっても燧ヶ岳です。

十数年前に台風接近中に初めて登頂し、強風と暴雨とガスで視界全く無し。

いつか山頂からの眺望を...と。2回目＝曇りから雨となり、またもや視界不良。

3回目(今年9月27日)＝晴れを確認してから決行。

眼下の尾瀬沼や尾瀬ヶ原を一望でき、やっと長年の願いが叶えられました。(布施 秀雄)

尾瀬81日間の想い

8月14日重いリュック二個背負ってたどり着いた。68歳に為らんとする小生に訪れた自然との共生に胸躍る。上司より尾瀬沼ビジターセンター始まって以来の高齢者の方ですと管理員に紹介される。我ながら挑戦した自分の心意気を褒めて上げた。

私の81日間で得たことは①男女共同生活②食事当番③尾瀬沼・大江湿原・沼山・小淵沢・燧ヶ岳巡回④今日の尾瀬ブログ作成・尾瀬情報作成のための写真撮影とPC作業、尾瀬の入山者のために努力している皆さんに感謝です。

(渡邊 草男)

尾瀬のアイドル

私の一番の想い出は、オコシヨと出会えた事です。お客様がビジターセンターに報告下さる目撃情報を羨ましい気持ちで聞いていたのですが、10月に私もやっと出会えました。後をつけてきたり、白樺の陰からこちらの様子を窺ったり、好奇心を隠そうともしない動きの愛くるしさといったら!「尾瀬のアイドル」の名は伊達ではありませんでした。

(三枝 幸菜)



■連載コラム

認定ガイドがススめる っておきの尾瀬

その17 尾瀬にふれる機会を作る (田中六郎 (尾瀬自然・登山ガイド))

(奥只見郷ネイチャーガイド Tel 025-792-7300 URL <http://www.city.uonuma.niigata.jp/kankou/oze/index.html>)

A1 尾瀬はどのコースも山道で、木道は濡れていると滑りやすいので、それに合う靴を選びましょう。普段あまり運動をされない方は、事前に坂道を歩き、自転車や脚力をつけておくことをお勧めします。そうすれば尾瀬では鼻歌まじりで散策できます。

A2 沼山峠を下った大江湿原から尾瀬沼周辺をお勧めします。春はミズバショウの芽吹きに始まり、夏のニッコウキスゲを中心に次々と咲く大江川周辺、紅葉時はエゾリンドウ等、尾瀬を凝縮したような場所が魅力的です。また、ここは尾瀬塚等の伝説と歴史が秘められた所もあり、尾瀬沼湖畔はいにしえの思いをめぐらせ、旅情を誘われるところです。また、尾瀬沼と尾瀬ヶ原を1泊2日で横断するコースが意外と穴場なのでお勧めします。

A3 ①カメラケース：腰か胸元に取付け、ビューポイントをおさず素早く取り出して、撮影できるケースが便利です。②タオル：汗ふきはもちろんだ、山小屋泊の際に枕カバーとしても使えます。③ビニール袋：尾瀬では「ゴミ持ち帰り」です。忘れないように「三

東京より平均気温が12度も低いことを認識し、急な雨や防寒着としても必須です。

A4 燧ヶ岳1周(沼山峠→尾瀬沼→尾瀬ヶ原→御池)の出来事でした。三条ノ滝付近でお客様の登山靴が壊れてしまい、テーピングテープで補修したのも束の間、今度はウサギ田代への上りで歩行困難なお客様があり、スリングで急坂を引っ張り、夕間迫る中でバス時間ぎりぎり下山しました。ガイド時はいつでもお客様に最後まで歩いてもらえるよう心掛けています。

A5 山ガールと呼ばれる若い人たちが目につくようになり、このような変化に期待しています。尾瀬はみんなのものであり、この美しさを守りながら、多くの方が尾瀬に触れる機会を作りたいと思います。また、尾瀬学校に参加してくれた子供たちが、いつかまた尾瀬に帰る日を楽しみにガイドをしていきます。



[ガイドさんへの質問] Q1 尾瀬の楽しみ方、Q2 オススメの尾瀬スポット、Q3 尾瀬歩きに便利な道具・装備
Q4 思い出のエピソード、Q5 今後の抱負・目標

その18 体が森の空気に包まれる感覚 (劔持雅信 (尾瀬自然ガイド))

(あるきんぐクラブ・ネイチャーセンター Tel 0278-52-3328 URL http://morigasuki.org/wp/?page_id=644)

A1 尾瀬を訪れる方々の多くが日常の忙しさを引きずっているようです。「尾瀬歩き」は余裕を持って滞在することに尽きます。好きな音楽や本を持って、山小屋に泊まり、「尾瀬時間」にゆっくり浸ることをおすすめします。そしてあまり欲張らないこと。せっかくの尾瀬なので色々と見て回りたいとは思いますが、その時々々の季節やコース、その場の雰囲気を感じてください。ガイドと一緒に歩くこともおすすめします。ガイドを「使う」ことで、あなたの「尾瀬時間」が充実したものになります。

A2 日本人は古より、花を摘んだり食べたりしないで、「眺めて楽しむ」ことが好きでした。今でもこのスタイルは変わっていないように感じます。今回は視点を変えて「尾瀬の森」をおすすめしたいと思います。日本海型の森である「尾瀬の森」は標高1600mまではブナが優占し、それ以上ではオオシラビソ等の針葉樹が優占します。鳩待峠→山ノ鼻や一ノ瀬→十二曲りでは、長い風雪に耐え、太く苔むしたブナの森が広がります。また、三平峠のオオシラビソ林の静寂、見晴から白砂峠を越える森も空気が違います。ポイントがゆっくりと進むことです。体が

森の空気に包まれる感覚を味わってください。

A3 ①予備メガネ：乱視&近視なので破損したら大変です。ハードケースに入れてください。②ヘッドランプ：夜の森が好きなので、尾瀬に限らずいつも持ち歩いています。③フィールドノート：どんな花や生き物と会えたか、時間や体調の管理等々。この他にも、頭に浮かんだことをメモしておきます。面白いもので、読み返すその時が鮮明によみがえります。

A4 リピーターとの再会ですね。「また尾瀬にきこやりました」は、私にとって最高の言葉です。あくまでも脇役として存在し、「また尾瀬で会えたらいいな」と、いつも思っています。

A5 自分自身が「尾瀬時間」を楽しむこと。尾瀬だけでなく、お客様との出会いを大切にすることです。モチベーションと体調を管理し、日々の発見と自分自身が楽しむことが一番大切だと感じています。



尾瀬ボランティア情報

このコーナーは尾瀬ボランティアに登録されている方のためのページです。

●活動予定

今シーズンも尾瀬ボランティアの皆さんには積極的に活動していただき、本当にありがとうございました。

シーズン終了後は、NHK「わたしの尾瀬」写真展の開催に関連するボランティアや事務ボランティアなどの活動も予定していますので、ご協力をよろしく願います。活動内容は随時お知らせします。

ボランティア総会については、平成25年2月頃を予定していますが、詳細は別途お知らせします。

●尾瀬ボランティア

登録更新について

尾瀬ボランティアの登録期間（2年間）が平成25年3月31日に終了しますので、今年度内に登録更新手続きを行います。詳細は別途お知らせします。

トピックス TOPIX

○尾瀬サミット2012を開催しました

平成24年9月4日、当財団の理事・評議員や関係者が尾瀬に一堂に会し、尾瀬に関する課題などを話し合う「尾瀬サミット2012」が開催されました。今年の尾瀬サミットは、尾瀬沼地区の尾瀬沼ヒュッテで開催され、テーマは、「自然の宝庫“尾瀬”の多様な魅力の発信に向けて」でした。

サミットでは、尾瀬国立公園の入山者の状況や、尾瀬国立公園における自然保護の取組、そして、尾瀬における環境学習などについて、当財団や関係機関から報告があった後、意見交換が行われました。意見交換では、尾瀬の利用促進についてや二ホンゾカの被害対策について積極的な話し合いが行われ、「尾瀬の貴重な自然を保護するとともに、その素晴らしさを堪能してもらおう取組を推進し、災害を乗り越えた尾瀬へ多くの人に訪れてもらう」とする共同アピールが採択されました。

また、サミット開催前には、尾瀬沼周辺で朝の自然観察会が行われ、サミット参加者たちは、尾瀬の自然の貴重さや魅力を改めて確認しました。



▲朝の観察会で尾瀬認定ガイドの説明を受けるサミット参加者



▲サミットで挨拶をする大澤理事長



寄付のお願い

尾瀬保護財団では広く寄付をお願いしております。

当財団は、尾瀬国立公園において、利用者に対し自然への理解を深めるための解説活動や、適正な利用に関する普及啓発を実施するとともに、各種の環境保全対策や施設の管理運営等を行ない、尾瀬の優れた自然環境の保全に寄与する活動を続けております。

◆個人住民税の寄付金控除の対象に尾瀬保護財団が指定されました。

個人住民税の寄付金税制の拡充により、各都道府県・市区町村が条例で指定した法人に対する寄付が、住民税の控除対象となるようになりました。尾瀬保護財団は下記の県・市・町から指定を受けています。(財団への寄付を行った翌年1月1日にこれらの県・市・町にお住まいの個人が対象となります。)

福島県、群馬県にお住まいの寄付者：個人県民税

福島県富岡町、群馬県前橋市、群馬県高崎市、群馬県桐生市にお住まいの方：個人県民税と個人市民税・町民税

◆また、尾瀬保護財団は「特定公益増進法人」に指定されており、当財団への寄付は所得税・法人税の優遇措置を受けることができます。

※なお、所得税、住民税控除の対象となる方には、領収書の送付時にご案内資料等をお送りします。

◆企業・団体の皆様とより良いパートナーシップを築けるよう、下記の制度があります。

種類	条件	特典
特別協賛寄付	3年に渡る毎年30万円以上の寄付、または一時の100万円以上の寄付	①財団機関誌、財団ホームページに企業等名称、ロゴマーク、メッセージを1年間掲載 ②尾瀬国立公園ロゴマークの取扱要領に基づき使用申請ができ、許可後は無償で1年間使用
協賛寄付	3年に渡る毎年10万円以上30万円未満の寄付、または一時の30万円以上100万円未満の寄付	①財団機関誌、財団ホームページに企業等名称を1年間掲載

■寄付につきましては、財団事務局（群馬県庁17階・027-220-4431）にご来訪いただくか、財団にご連絡の上、下記口座にお振込をお願いいたします。

福島県	東邦銀行県庁支店	普通	1078095
	福島銀行本店営業部	普通	0590088
	大東銀行福島支店	普通	1287138
群馬県	群馬銀行県庁支店	普通	0515428
	東和銀行本店営業部	普通	0975531

新潟県	第四銀行県庁支店	普通	1182791
	北越銀行県庁支店	普通	0199366
	大光銀行新潟支店	普通	0837334

特別協賛寄付者のご紹介

※寄付日順、敬称略

尾瀬紀行

尾瀬紀行（信託ファンド）で収受した信託報酬の一部として総額538万円余りをご寄付いただきました。平成19年より今回が6回目のご寄付となります。（通算寄付総額 40,159,497円）



2012年8月30日寄付

DIAMアセットマネジメント株式会社 今年度は269万円余りをご寄付いただきました。（通算寄付総額 20,079,749円）

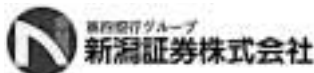
寄付者からのメッセージ：尾瀬の美しく貴重な自然を後世に受け継ぐために今回の寄付金が有効に活用され、環境保全の一助となることを期待しております。DIAMはこれからも金融の仕組みを通じて、社会に貢献する資産運用会社を目指します。



2012年8月30日寄付

株式会社第四銀行 今年度は51万円余りをご寄付いただきました。（通算寄付総額 4,553,882円）

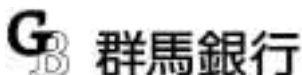
寄付者からのメッセージ：尾瀬の自然環境を後世まで末永く守り続けるため、今回の寄付金が有効に活用されることを期待しております。第四銀行はこれからも尾瀬の自然環境保護を支援すると共に、地域社会の発展に貢献してまいります。



2012年8月30日寄付

新潟証券株式会社 今年度は9万円余りをご寄付いただきました。（通算寄付総額 1,475,632円）

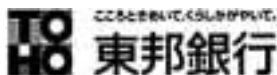
寄付者からのメッセージ：尾瀬の自然環境を後世まで末永く守り続けるために今回の寄付金が有効に活用されることを期待しております。新潟証券は第四銀行グループとして、これからも尾瀬の自然環境保護を支援すると共に、地域社会の発展に貢献してまいります。



2012年6月8日寄付

株式会社群馬銀行 今年度は95万円余りをご寄付いただきました。（財団設立当初からの寄付を含め、通算寄付総額 25,193,517円）

寄付者からのメッセージ：信託報酬の一部が尾瀬保護財団への寄付となる仕組みの投資信託を取扱っており、多くのお客さまの善意の集大成を寄付させて頂きました。趣旨にご賛同頂き投資信託をご購入頂いた全てのお客さまに深く感謝いたします。



2012年6月7日寄付

株式会社東邦銀行 今年度は112万円余りをご寄付いただきました。（通算寄付総額 6,959,117円）

寄付者からのメッセージ：尾瀬の自然環境を後世まで末永く守り続けることを目的として、当ファンドの販売・運用を通じて地域社会の発展に貢献するとともに、広く尾瀬の自然を愛する皆様と共に力を尽くしていく所存であります。今後とも積極的にCSR（企業の社会的責任）を重視して取組んで参ります。



2012年2月27日寄付



2011年1月13日寄付

ベisiaグループ ベisiaグループ様より308万円余りをご寄付いただきました。ベisiaグループ様では、グリーン家電エコポイント及び住宅エコポイントの交換商品として商品券を提供しており、商品券交換金額の一定割合を、環境保全等を行っている団体等に寄付する制度のもとにご寄付いただいたものです。(通算寄付総額 11,474,488円)

寄付者からのメッセージ：ベisiaグループは、「地域共生」を理念に自然環境保護にも積極的に取り組んでいます。今回の環境寄付に当たっては、当グループ発祥の地である群馬をはじめ、出店エリアの福島、新潟、栃木に広がる貴重な自然「尾瀬国立公園」の環境保全と適正利用を推進している尾瀬保護財団を選定させていただきました。群馬県が誇る豊かで美しい自然が、いつまでも多くの人々に楽しんでいただけることを、心より期待いたします。

アサヒビール株式会社群馬支社 47都道府県において、アサヒスーパードライ缶、ビン1本あたり1円を各都道府県の売上に応じて、環境関連等の団体に寄付するもので、平成22年春のキャンペーンに続く第4弾キャンペーンにより565万円余のご寄付をいただきました。(通算寄付総額 20,687,578円)

寄付者からのメッセージ：アサヒビール(株)群馬支社では、地域との共生や地域貢献を目標に掲げ、2009年春より、アサヒスーパードライ「うまい!を明日へ!プロジェクト“尾瀬の環境保全活動”」をスタート。売上の一部を尾瀬保護財団へ寄付させていただいています。より多くの県民の皆様にも主旨を知っていただき、また、賛同いただくことで、県民の皆様とともに群馬県の環境保全を進めていきたいと考えています。群馬県の子どもたちの未来のために、お役に立てただけなら幸いです。

協賛寄付者のご紹介

※寄付日順、敬称略

株式会社フレッセイ
2012年7月10日寄付

フレッセイと麒麟ビバレッジでエコ基金を創設し、フレッセイの各店舗で販売された麒麟ビバレッジの対象商品の売り上げ1本につき0.5円(両社で0.25円ずつ負担)をエコ基金に積み立て、その積立金を尾瀬の自然環境保護のため、30万円余りをご寄付いただきました。エコ基金からの寄付は、今回で3回目となります。(通算寄付総額 1,363,245円)

麒麟ビバレッジ
株式会社
2012年7月10日寄付

フレッセイと麒麟ビバレッジでエコ基金を創設し、フレッセイの各店舗で販売された麒麟ビバレッジの対象商品の売り上げ1本につき0.5円(両社で0.25円ずつ負担)をエコ基金に積み立て、その積立金を尾瀬の自然環境保護のため、30万円余りをご寄付いただきました。エコ基金からの寄付は、今回で3回目となります。(通算寄付総額 1,156,508円)

アサヒビール株式会社
群馬支社
2012年7月5日寄付

尾瀬の自然環境保護のため、31万円余りをご寄付いただきました。これは、平成23年12月から平成24年3月までに利根郡内で販売された「アサヒスーパードライ」缶・びん1本につき1円をご寄付いただいたものです。(通算寄付総額 20,687,578円)

KDDI株式会社
2011年7月29日寄付

尾瀬の自然環境保護のため、84万円余のご寄付をいただきました。これは、群馬県内のauショップで新規契約または機種変更によるau携帯の売上の一部をご寄付いただいたものです。(初回寄付)

株式会社福島銀行
2011年7月21日寄付

尾瀬の自然環境保護のため、50万円をご寄付いただきました。これは、販売されているエコ定期の残高の0.01%相当額をご寄付いただいたものです。(通算寄付総額 8,080,000円)

水上高原ホテル200
2011年5月27日寄付

水上より坤六峠を越えて尾瀬に入るツアーを実施しており、その収益の一部を尾瀬の自然環境保護の一助となるようにと30万円のご寄付をいただきました。今回で2回目となります。(通算寄付総額 540,000円)

イベント情報 ◆◆◆◆

第17回 NHK「わたしの尾瀬」写真展

【高崎展】

- 開催期間 平成24年12月14日(金)～19日(水)
午前10時～午後6時(19日は午後4時まで)
- 会場 高崎シティギャラリー第2展示室
(群馬県高崎市高松町35-1)
- その他 入場無料

【スライドレクチャー】

- 開催日時 平成24年12月14日(金) 午後3時～4時
- 会場 高崎シティギャラリーコアホール
(群馬県高崎市高松町35-1)
- その他 入場無料

「尾瀬カード」をご存じですか？

尾瀬カードはクレジットカード会社が当財団と提携し、発行されている「クレジットカード」の名称です。

このカードを利用された場合、利用額の0.5%相当額がカード会社から当財団へ寄付され、尾瀬の自然を守るための活動に使われます。

加入ご希望の方は、カード会社または尾瀬保護財団「尾瀬カード」担当までお問い合わせください。



オリエントコーポレーション

編集後記

8月初めに清掃活動で尾瀬ボランティアの皆さんと、鳩待峠から横田代・アヤメ平を経由して富士見峠まで行ってきました。アヤメ平では、キンコウカが一面に咲き渡り、空がとても近く感じられ、正に「天上の楽園」にいるかのようでした。また、アヤメ平から見る至仏山や燧ヶ岳は、普段尾瀬ヶ原から見る景色と異なりとても新鮮なものでした。

かつて多くの登山者が訪れたアヤメ平では、裸地化した湿原の植生回復作業が今も続けられています。多くの方々の長年の努力により、緑が戻りつつありますが、一度失われた自然は元に戻るまでに長い年月が必要なのだ改めて感じました。(井)

尾瀬の三二観察 ⑮

ミズバショウの花に来る昆虫は？

花が満開のミズバショウの群落には、甘く穏やかな香りが満ちている。

この花の花粉を媒介する昆虫との最初の出会いは、テレビの撮影で訪れた福島県の湿原だった。花の姿と香りからの期待に反し、それはハエの仲間だった。その後、尾瀬で調査したさいも、花にくるのはハエだった。およそ50個の花序に1匹の割合で見られたが、ハエは蜜も何もない緑色の花被をなめていた。そこに何が有るのか不明のままなので、明らかにすれば新発見になるはずだ。写真はミバエの一種。

(フラワーエコロジスト 田中 肇)



『友の会』コーナー

「友の会」は豊かな尾瀬の自然を守る財団の活動を支援してくださる方々の集まりです。



年会費	○個人会員	1口	2,000円
	○ユース会員（3月31日現在満22歳以下）	1口	1,500円
	○家族会員（個人会員と同居の家族）	1口	1,500円
	○賛助会員（団体・法人）	1口	10,000円

☆友の会の会員期間は加入から1年です！

友の会の会員期間はご加入から1年間です。来シーズン尾瀬に行こうと考えられている方、いつ友の会に入られても、1年間フルに楽しんでいただけます。

★特典について

友の会に加入された方に次の特典をご提供させていただいております。

初回加入時：友の会会員バッチ進呈、各種資料送付

財団機関誌：年4回配布

宿泊割引：尾瀬戸倉、檜枝岐村周辺宿泊割引

（休日、祝祭日前等の除外日があります）

尾瀬周辺施設利用料割引等：対象施設等の詳細は、

尾瀬保護財団ホームページでご確認下さい。

※賛助会員の特典は財団機関誌の送付のみ



oze mobile
携帯サイト
情報配信中

緊急情報
お知らせ
ライブ映像
など

尾瀬の質問も受け付けています

ツイッター
尾瀬情報配信

